

会 議 録

会 議 名	2026 年度第 1 回東浦町社会教育委員会	
開催日時	2026 年 5 月 29 日（金）午前 10 時から午前 11 時 50 分まで	
開催場所	メモリー とんがったスタイル 文化センター 視聴覚室	
出 席 者	委員	石原弘幸氏、松下玲子氏、平井伸幸氏、水野智美氏、竹内秀雄氏、山崎千聡氏、坂部博幸氏
	事務局	ふくし文化部長、学び支援課長、観光交流課長、中央図書館長、生涯学習係長、スポーツ係長、学び支援課主事
欠 席 者	高崎義幸氏、鈴木達見氏、竹内元彦氏	
議 事	1 2025 年度社会教育事業実績について 2 2026 年度社会教育事業計画について 3 その他	
傍聴者の数	なし	
審議内容		
◆事務局 挨拶及び欠席者と会議の成立について報告を行う。 名簿順に自己紹介を行う。 ◆ふくし文化部長 (挨拶) ◆事務局 2026・2027 年度東浦町社会教育委員会正副委員長の選出。 委員長は石原氏、副委員長は山崎氏に決定。 ◇委員長・副委員長 (挨拶) ◆事務局 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。 ◇委員長 次第に従い議事を進める。議事 1「社会教育委員の役割」について事務局から説明を求める。 ◆事務局 資料 1 に基づき説明。 ◇委員長 事務局の説明を受けて、委員の意見を募り、意見がないことを確認し、議事 2「2025		

年度社会教育事業実績」について事務局から説明を求める。

◆事務局

○資料2-1に基づき、学び支援課（生涯学習係、スポーツ係）の実績について説明。

○資料2-2に基づき、図書館の実績について説明。

○資料2-3に基づき、観光交流課（文化財保護事業、郷土資料館事業）の実績について説明。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

◇委員

資料2-1について、昨年度の実績には社会教育事業の中に高齢者教育事業、教育委員会共催事業、地域学校協働活動についての報告があったが、なくなったのは機構改革の関係か。

◆事務局

高齢者教育事業については、一昨年度までは生涯学習課が主催で各地区のゆうゆうクラブに委託をし、高齢者教室を開催していたが、昨年度より委託という形ではなくなった。現在はふくし課から交付している補助金を活用する等、各地区が工夫して教室等を実施している。学び支援課としては各地区のゆうゆうクラブに出前講座を紹介し、活用について案内を行っている。教育委員会共催事業、地域学校協働活動については、機構改革の関係で、学び支援課の事業ではなくなったが、引き続き教育課で継続されている。

◇委員

なくなっていたらと心配したが、継続しているならかまわない。

◇委員長

「2025 年度社会教育事業実績」について意見がないことを確認し、議事3「2026 年度社会教育事業計画」について事務局から説明を求める。

◆事務局

○資料3-1に基づき、学び支援課（生涯学習係、スポーツ係）の計画について説明。

○資料3-2に基づき、図書館の計画について説明。

○資料3-3に基づき、観光交流課（文化財保護事業、郷土資料館事業）の計画について説明。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

◇委員長

子ども達は普段図書館や資料館へはどのような手段で行っているのか。施設に近い場合は徒歩だと思うが、遠くの子供はどうか。

◆事務局

図書館は、車が多いと思う。

◆事務局

資料館は、本日生路小学校の出前講座があり、バスで来ている。資料館は大人数が入ることが出来ないため、バスが往復して、入れ替わりで実施している。

◇委員長

ふるさとガイドの中で話題に出るのだが、資料館等の施設の展示物について、日本語だけではなく多言語で書いてあったり、博物館等のパンフレットが多言語のものがあつたりするようだ。多文化共生の社会では、東浦町の施設でもそのような取り組みが必要だと思う。また、子ども若者会議のときにも、外国籍の子どもが多く、子どもたちは就学前の日本語教室などで段々と日本語を使えるようになるが、保護者の方はなかなかそのような機会がない。バリアフリーの観点で、そのような方が気軽に施設に行けるよう、少しずつ対応していただきたいと思う。

◇委員長

資料3-1の8ページの学校部活動外部指導者派遣事業について、いつまで行うか。

◆事務局

部活動が全くなくなるわけではなく、現状は学校の先生が指導できないようなことについて、学校からの要望があれば派遣している。部活動がなくなり、完全に地域クラブに移行すれば、地域クラブでご活躍いただくことになると思うが、現状は部活動があるため、こちらからの派遣という方向で考えている。

◇委員

地域クラブは教育課の管轄だと思うが、方向性が違うと困る。地域クラブでの負担が大きいため、指導者が増えればと考えている。吹奏楽の地域クラブはいかがか。

◇委員

西部中学校の吹奏楽の地域クラブは、子どもの人数と同じくらいの指導者がおり、うまくローテーションができています。西部中学校は子どもの数が少ないため、他の学校とは違うかもしれない。地域クラブについては、国の見解がどんどん変わるため、東浦町も指導者も対応が難しいと思う。地域クラブ、学校部活動外部指導者派遣事業で課が違うのと、学校も先生が変われば考えが変わることもあるため、指導者が対応するのが難しい。それぞれが同じ方向を向いていれば指導者もやりやすいと思う。

◇委員長

教育課との連携は、情報共有等しながら今後進めてほしいと思う。

◇委員長

「2026 年度社会教育事業計画」について質疑を締め切り、議事4「その他」について事務局から説明を求める。

◆事務局

議事4は特になことを報告する。

◇委員長

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣告。

◆事務局

事務連絡として、3点の連絡を行う。

【連絡1】

- ・今後の社会教育委員関連スケジュールについて報告。
- ・小委員会は秋ごろ、第2回の社会教育委員会は3月中旬を予定していることを報告。

【連絡2】

- ・今年度の社会教育委員名簿・社会教育関係職員名簿について報告。

【連絡3】

- ・2026年度版東浦町生涯学習案内冊子「まなびの森ひがしうら（講座・イベント編）（サークル編）」、「東浦町生涯学習出前講座」の概要について説明。
- ・社会教育委員のそれぞれの立場で周知及び活用していただくよう依頼。

昨年度の県社連東尾張支部研修会にて、東浦町が研究発表した内容を基に平井委員が作成した動画を視聴。

◆事務局

挨拶をして会議の終了を宣言する。

備考	なし
----	----